

【事務事業調査】

事務事業名	育児支援家庭訪問事業			予算科目 コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
					001-03-02-01-005-06-01
担当部課	教育部 子どもみらい課	担当 サブリーダー	児童福祉担当 加藤 敦史	事業の分類	既存事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	育児支援家庭訪問コーディネーターを配置し、育児に関する支援を必要とする家庭を訪問して、家庭の育児不安を解消するためのお手伝いや、適宜、必要とする関係機関へ繋ぐための支援を行います。 また、育児不安を解消し虐待を予防していくため、人員体制を強化し、出前型の育児支援(家庭訪問など)策を充実させていきます。	従来、事業に参加した人への支援だけでなく、出前型の育児支援(家庭訪問など)を積極的に行うことで、より支援を必要としている子育て世帯の育児不安を、少しでも和らげることができます。出生後早い時期から、少しずつ関わりを広げていくこと、関係機関と連携して一緒に環境調整していくことが、子どもたちや子育て世帯への重要な支援策となります。
実績	事業を実施するため専任の子ども相談員を1名配置し、主に育児に関する支援を必要とする家庭への訪問など、家庭の育児不安を解消するためのお手伝いをしました。 県北児童相談所をはじめ各小中学校、保育園、幼稚園などの関係機関との連絡調整を行いながら、保護が必要な児童について、個別のケースに応じた支援策を講じてきました。	家庭を訪問し育児不安を少しずつ和らげていくことで、児童虐待の未然防止と子育て家庭の支援に繋がりました。

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
年間家庭訪問件数(約50%増)	300	130	児童虐待を未然に防止するためには、どれだけ積極的に各家庭に関われるかが重要なことから、ケースとして訪問した件数を指標としました。またケースワーク(調整)も役割として求められているので、関係機関への訪問も年間総数に含めています。

■事業費(計画)

細 節	金 額
1 非常勤職員報酬	3,690,000
2 消耗品費	21,000
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	3,711,000



■事業費(当初予算)

細 節	金 額
1 非常勤職員報酬	2,465,000
2 消耗品費	21,000
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	2,486,000



■事業費(実績)

細 節	金 額	特記事項
1 非常勤職員報酬	2,464,800	
2 消耗品費	4,830	
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	2,469,630	

■事業経費

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		2,486,000	
	補正予算額		0	
	流用額		0	
	予算現額		2,486,000	
決 算	決算額		2,469,630	
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0	0	
	差引(一般財源)	3,711,000	2,469,630	